

平成16年10月29日

平成17年3月期中間決算の概要について

シロキ工業株式会社

(輸送用機器 東証、名証第1部上場)

1、連結中間期決算について

当社の9月31日現在の連結対象子会社は国内6社、海外7社の計13社で、他に持分法適用関連会社が3社となっております。前年同期比では海外の連結対象会社が1社増加しております。これは昨年10月、現地生産子会社「広州白木汽車零部件有限公司」を中国(広東省広州市)に設立したことによるものであります。

[米国、アジアの増収で過去最高の売上高]

売上

上半期の連結売上高は、前年同期比2.1%増の568億1千7百万円で、11億7千1百万円の増収となり、過去最高の売上を上げることができました。また5月14日に発表いたしました期初予想550億円に対しても3.3%増の18億1千7百万円の増収となりました。主として、米国とアジアの売上が増加し、国内も予想以上に売上が増加したことによるものであります。

国内売上

国内につきましては、主力のシロキ工業が435億9千3百万円で、ほぼ前年並みの売上(前年同期比5百万円減)を確保いたしました。期初予想におきましては、海外生産移転の増加や国内販売の低迷などを見込み、前年同期比3.9%の売上減としておりましたが、輸出が好調に推移したため、輸出向けの生産が増加し、また軽自動車販売が好調に推移したことなどもあり、期初予想419億円に対して4.0%増の16億9千3百万円の増収となり、また前年同期比でもほぼ横ばいの売上とすることができました。

海外売上

米国につきましては、SWマニュファクチャリング(米国テネシー州)が前年同期比12.9%増の121億9千8百万円で、13億9千3百万円の増収となりました。これは現地トヨタ自動車(株)向けが好調に推移したため、特に

連結

(上段当中間期・下段前年同期)

売上高:

568億1千7百万円

556億4千6百万円

(前年同期比2.1%増)

営業利益:

17億8百万円

19億3千2百万円

(前年同期比11.6%減)

経常利益:

19億1千2百万円

18億5千3百万円

(前年同期比3.2%増)

中間純利益:

8億1千5百万円

8億8千4百万円

(前年同期比7.8%減)

1株当り当期純利益

9円18銭

9円95銭

海外売上高

130億8千7百万円

112億6百万円

海外売上高比率

23.0%

20.1%

設備投資額(有・無形)

28億4千万円

22億4千6百万円

減価償却費(有・無形)

24億4千万円

25億6千4百万円

「シエナ」のセカンドシート、サードシート、ウインドレギュレータ等の生産台数増が大きく貢献いたしました。

アジアにつきましては、シロキタイランド(タイ・アマタナコン市)が昨年8月の新工場完成により本格稼働を開始し、現地トヨタ自動車(株)と三菱自動車工業(株)向けのウインドレギュレータ等の生産が増加し、前年同期比16.2%増の5億2千4百万円で、3億2千4百万円の増収となりました。

【前年同期比で経常増益、期初予想は大幅増益】

利益

利益につきましては、経常利益が前年同期比3.2%増の19億1千2百万円で、5千9百万円の増益となり、期初予想13億円に対しても47.1%増の6億1千2百万円の大幅な増益となりました。営業利益は前年同期比11.6%減の17億8百万円で、2億2千3百万円の減益となりましたが、期初予想13億円に対しては31.4%増の4億8百万円の大幅な増益となりました。

増減益の主な要因といたしましては、経常利益段階では、主としてSWマニュファクチャリングの為替差益や金型売却益などにより増益となりましたが、営業利益段階では中国生産拠点立ち上げ費用や新製品開発費用などの先行費用と原材料価格高騰などが影響し、シロキ工業が1億8千3百万円、SWマニュファクチャリングが9千4百万円の減益となりました。期初予想に対しては、シロキ工業、SWマニュファクチャリングの売上増加に伴う増益効果と原価改善活動などの合理化効果などにより増益とすることができました。

【中間純利益は期初予想に対し3倍の増益】

最終損益につきましては、特別損失として宇和島シロキの工場閉鎖に伴う退職給付費用4億4千1百万円などを計上したため、中間純利益は前年同期比7.8%減の8億1千5百万円で、6千8百万円の減益となりました。期初予想2億円に対しては3.08倍の6億1千5百万円の増益となりました。

得意先について

(上段当中間期、下段前年同期)

・トヨタG (*68.4%)
388億7千9百万円
378億2千万円
(2.8%増)

・売上高上位4社
トヨタ自動車(*45.8%)
260億4千1百万円
253億8千万円
(2.6%増)

スズキ (*10.1%)
57億5千4百万円
56億9千8百万円
(1.0%増)

ダイハツ工業(*5.2%)
29億6千9百万円
25億2千3百万円
(17.7%増)

日産自動車 (*4.7%)
26億9千5百万円
23億4千1百万円
(15.1%増)

* 社名横の(*)内は
売上構成比率

主要製品について

シートリクライナ・
シートアジャスタ
(*35.0%)
198億6千4百万円
198億4千2百万円
(0.1%増)

ウインドレギュレータ
(*28.4%)
161億2千万円
159億2千1百万円
(1.2%増)

ドアサッシ (*17.8%)
101億3千4百万円
93億9千4百万円
(7.9%増)

* 製品名横の(*)内は
売上構成比率

2、通期連結業績予想について

[通期売上は増収で過去最高を予想]

売上

連結売上高の通期予想につきましては、
期初予想の1120億円から、1150億円に上方修正し、
前期比0.8%増の9億5千8百万円の増収を予想して
おります。これは、国内およびアジアにおいて引き続き
売上が増加するものと予想されるからであります。

国内売上

国内におきましては、引き続き輸出と軽自動車販売が
堅調に推移し、これに加え下期には新型車種の拡販効果
が期待されますところから、主力のシロキ工業の下期
売上を前年同期比0.7%増の464億7百万円と予想し、
通期でも前期比0.3%増の900億円と、3億9百万
円の増収を予想しております。

海外売上

米国につきましては、引き続き堅調に推移するものと
予想されますが、原油価格高騰と円高による影響が懸念
されるため、SWマニュファクチャリングの下期の
売上は前年同期比6.7%減の104億2百万円を予想し、
通期では前期比2.9%増の226億円を予想して
おります。

アジアにつきましては、シロキタイランドが現地トヨタ
自動車(株)の国際戦略車「IMV」向けのウインドレギ
ュレータが8月から生産を開始したことから、大幅に
売上が伸張し、下期売上を前期比70.5%増の7億7
千6百万円と予想し、通期で前期比98.5%増の13億
円で、6億4千5百万円の増収を予想して
おります。

[今期は将来のための基盤構築の年。中国進出などの 先行投資や構造改革費用増で減益を予想]

利益

連結通期の経常利益は増収効果により期初予想の35
億円から36億円に上方修正いたしますが、しかしながら
前期比11.7%減の4億7千5百万円の減益を予想して
おります。

海外における原材料の高騰や社会保険・労災保険などの
労務付帯経費の増加による収益への影響や、宇和島シロキ
の工場閉鎖に伴う一過性の費用、中国進出に伴う生産立ち

連結通期予想

(上段当期予想、下段前期実績)

売上高:

1150億円
1140億4千2百万円
(前期比0.8%増)

営業利益:

36億円
45億6千万円
(前年同期比21.1%減)

経常利益:

36億円
40億7千5百万円
(前期比11.7%減)

当期純利益:

14億円
16億7千3百万円
(前期比16.3%減)

1株当り予想当期純利益

15円02銭
18円10銭

設備投資額(有・無形)

78億8百万円
60億2千2百万円

減価償却額(有・無形)

56億8千6百万円
54億7千5百万円

上げ費用などの構造改革費用や先行投資などが予想されるため、減益を予想しているものであります。なお、当期純利益につきましても、期初予想の12億円から14億円に上方修正いたしますが、前年比16.3%減の2億7千3百万円の減益を予想しております。今後も引き続き経営資源の効率化やロスコストの低減など総原価低減を徹底して取り組んでまいりますとともに、今期は将来の為の基盤構築の年と位置付け先行投資、構造改革に最大限力を注いでまいります。

3、上期の取り組みについて

当社では厳しい経営環境のなか、「世界No.1製品づくり」に取り組み、シロキブランド向上に努めるとともに、製品のグローバル供給体制の構築に取り組み、国際競争力強化に努めました。上期に実施した主な取り組みは次の通りであります。

1、新製品開発の強化

- 「アルミドアサッシ」 (本年9月生産開始)
- ・アルミ素材を使用し、従来品に対し30%軽量化。
- ・日産自動車(株)「フーガ」に装着。
- 「8ウエイパワーシート」 (本年9月生産開始)
- ・パワー式とマニュアル式の部品共通化を図った低コスト・軽量パワーシート。
- ・日産自動車(株)「フーガ」に搭載。
- 「後方格納シート」 (本年9月生産開始)
- ・床下に格納できる小型・軽量・低コスト化を図ったサーードシート。
- ・トヨタ自動車(株)「アイシス」に搭載。

2、グループ事業の改革

- 宇和島シロキでの生産中止 (本年8月)
- ・生産体制の効率化と強化。

3、グローバル展開の加速

- 広州白木自動車零部件(中国)の建設工事完了 (本年9月)
- ・来年4月稼働開始にむけ生産準備開始。
- シロキタイランド(タイ)の生産拡大 (本年9月)

- ・トヨタ自動車(株)「IMV」の生産開始に対応。
- ・ASEAN地区での生産体制強化。
北米に第3の生産拠点構築の検討開始 (本年4月)
- ・日系自動車メーカーの生産拡大に対応。
- ・北米生産体制強化。

4、個別中間期決算について

売上

シロキ工業単独につきましては、売上高は435億9千3百万円で、ほぼ前年並みの売上(前年同期比5百万円減)を確保することができました。期初予想419億円に対しては、輸出向けの生産が増加し、また軽自動車の販売好調などもあり、4.0%増の16億9千3百万円の増収となりました。

得意先別では、三菱自動車工業(株)の売上が前年同期比で8億6千4百万円減(31.3%減)と大きく減少いたしました。一方で輸出向け車種の好調な日産自動車(株)が3億5千4百万円増(15.1%増)、軽自動車販売の好調なダイハツ工業(株)が4億4千6百万円増(17.7%増)と、それぞれ売上を伸ばいたしました。

利益

[前年同期比で減益も期初予想では

経常利益51.7%の増益]

利益につきましては、中国生産拠点立ち上げ費用や新製品開発費用などの先行費用と原材料高騰などが影響し、営業利益は前年同期比13.8%減の11億5千万円で、1億8千3百万円の減益、また経常利益も前年同期比1.8%減の13億6千5百万円で、2千5百万円の減益となりました。期初予想に対しては、増収効果と合理化効果により営業利益は27.8%増の2億5千万円の増収、また経常利益は51.7%増の4億6千5百万円の増収となりました。

[期初予想に対し23.5%の増益]

最終損益につきましては、特別損失として減損会計導入に向けた固定資産除却損2億4千2百万円や宇和島シロキの貸倒引当金1億6千7百万円、退職給付費用3億3千万円などを計上した結果、当期純利益は前年同期比14.5%減の3億8千5百万円で、6千5百万円の減益となりました。

個別

(上段当中間期・下段前年同期)

売上高

435億9千3百万円

435億9千9百万円

(前年同期比0.0%減)

営業利益

11億5千万円

13億3千4百万円

(前年同期比13.8%減)

経常利益

13億6千5百万円

13億9千万円

(前年同期比1.8%減)

中間純利益

3億8千5百万円

4億5千1百万円

(前年同期比14.5%減)

1株当たり当期純利益

4円34銭

5円07銭

設備投資額(有・無形)

19億3千9百万円

13億4百万円

減価償却費(有・無形)

20億9千3百万円

22億5千5百万円

主要得意先の売上高

・トヨタグループ(*62.1%)

270億6千6百万円

278億4千6百万円

(2.8%減)

・売上高上位4社

トヨタ自動車(*33.9%)

147億6千2百万円

157億3千5百万円

(6.2%減)

スズキ(*13.2%)

57億5千4百万円

56億9千8百万円

(1.0%増)

ダイハツ工業(*6.8%)

29億6千9百万円

25億2千3百万円

(17.7%増)

日産自動車(*6.2%)

26億9千5百万円

23億4千1百万円

(15.1%増)

社名横の()内は

売上構成比率

た。期初予想 3 億円に対しては、28.3%増の 8 千 5 百万円の増益となりました。

5、個別通期業績予想について

〔増収ながら中国立ち上げ、原材料高騰で減益を予想〕

引き続き輸出と軽自動車販売が堅調に推移し、これに加え下期には新型車種の拡販効果が期待されますところから、下期の売上は前年同期比 0.7%増の 464 億 7 百万円で、3 億 1 千 6 百万円の増収を予想し、通期売上でも前期比 0.3%増の 900 億円で、3 億 9 百万円の増収を予想しております。しかしながら、中国生産拠点の立ち上げ費用や原材料高騰などの影響が予想されるため、通期の営業利益は前期比 19.2%減の 29 億円で 6 億 9 千万円の減益、通期の経常利益は前期比 18.3%減の 31 億円で 6 億 9 千 5 百万円の減益となり、そして特別損失として固定資産除却損や退職給付費用 6 億 6 千万円などを計上し、その結果、当期純利益は前期比 17.6%減の 10 億円で、2 億 1 千 4 百万円の減益を予想しております。

(* 10 月 20 日に個別の中間・通期の業績予想修正を発表しております。)

主要製品の売上高

シートリクライナ・
シートアジャスタ
(* 34.2%)
149 億 2 千 9 百万円
154 億 2 千万円
(3.2%減)

ウインドレギュレータ
(* 25.3%)
110 億 2 千 8 百万円
116 億 6 千 6 百万円
(5.5%減)

ドアサッシ (* 22.0%)
96 億 1 千万円
89 億 9 千 5 百万円
(6.8%増)

* 製品名横の (*) 内は
売上構成比率

個別通期予想

(上段当期予想、下段前期実績)

売上高 :

900 億円
896 億 9 千 1 百万円
(前期比 0.3%増)

営業利益 :

29 億円
35 億 9 千万円
(前期比 19.2%減)

経常利益 :

31 億円
37 億 9 千 5 百万円
(前期比 18.3%減)

当期純利益 :

10 億円
12 億 1 千 4 百万円
(前期比 17.6%減)

1 株当り予想当期純利益

10 円 6 7 銭
13 円 0 8 銭

設備投資額 (有・無形)

54 億 4 千 9 百万円
41 億 7 千 3 百万円

減価償却額 (有・無形)

49 億 5 千 5 百万円
45 億 7 千 8 百万円

シロキ工業株式会社 (0533) 84 - 4691

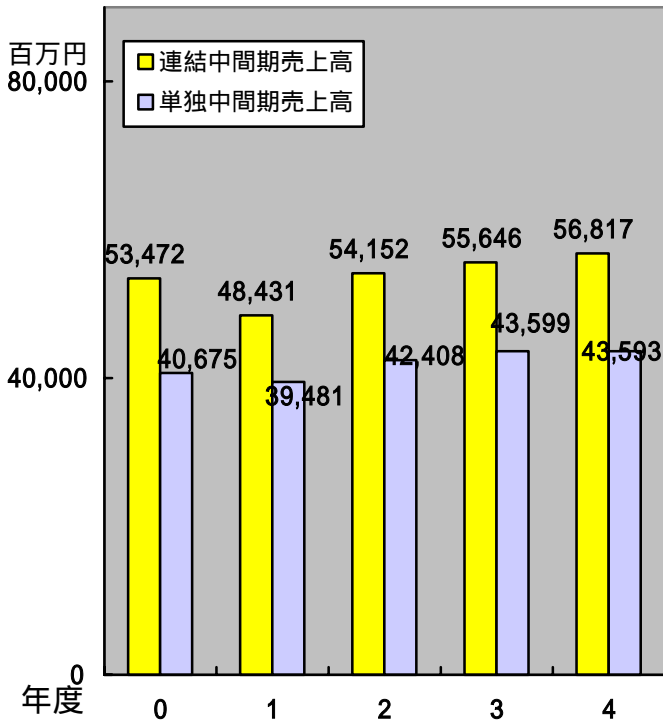
この件のお問い合わせは :
ニュー・スリリースのお問い合わせは :

参与経理部長 大石勝美
総務部広報担当 眞野成人

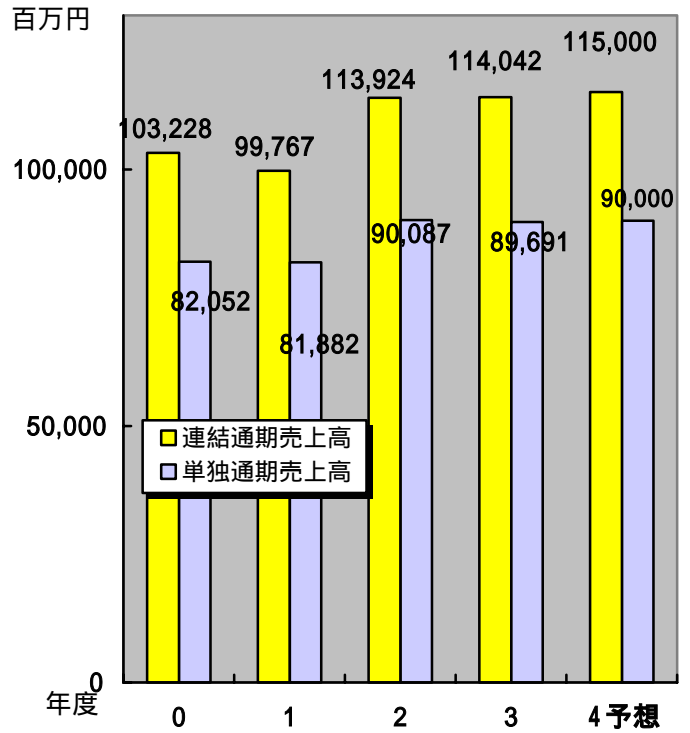
業績推移

シロキ工業株式会社

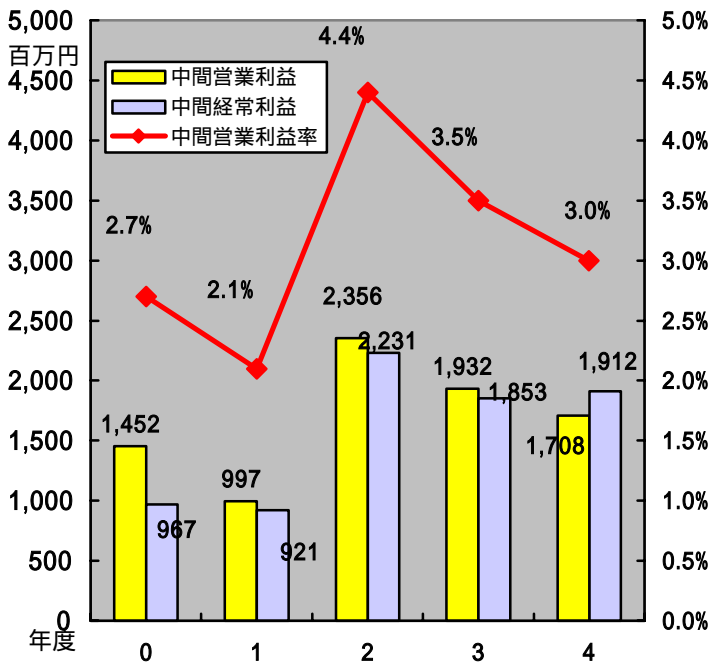
連・単売上高推移（中間期）



連・単売上高推移（通期）



連結利益の推移（中間期）



連結利益の推移（通期）

